

高齢者看護学実習

単位数：6単位

○原 祥子：地域・老年看護学講座教授
加藤 真紀：地域・老年看護学講座准教授

1. 科目の教育方針

高齢者看護について創意工夫をしながら優れた看護活動を行っている病院、介護保険施設、訪問看護ステーション等において、豊富な高齢者看護実践経験をもつ看護職者の指導のもとでの看護実践を通して、直接的な看護実践の能力を向上させるとともに、相談、ケア調整、倫理調整、スタッフ教育の能力を開発する。実習を通して、高齢者看護ケアを変革・発展させていくことのできる老人看護専門看護師としての視点を養う。

2. 教育目標

- 1) 既習の理論やモデルを適用し、複雑な健康問題をもつ高齢者とその家族に対して、適切なアセスメントに基づく判断、問題解決へ向けた看護援助の実践、援助結果の適切な評価ができる。
- 2) 実習指導者の指導のもとに（実習指導者とともに）行われた看護実践、相談、調整等について、その意図や方略、評価方法を理解する。
- 3) 高齢者とその家族、専門職者間で生じた倫理的課題に対する調整方法を理解する。
- 4) スタッフへの教育的働きかけや教育的環境づくり等、継続教育における老人看護専門看護師の役割を理解する。
- 5) 高齢者看護の組織・機関における実践的研究課題を見出し、その課題の解決の方向性について考察することができる。

3. 実習施設・時期および内容

1) 病院・施設における高齢者看護実習

【実習施設】 松江市立病院、松江赤十字病院

【実習時期】 1年次 2～3月の4週間

【実習内容】 実習指導者の指導のもとに、高齢者とその家族に対する看護実践を行い、老人看護専門看護師が果たす相談・ケア調整・倫理調整・スタッフ教育の役割について、実習施設における実践を通して学ぶ。

2) 認知症高齢者看護実習

【実習施設】 介護老人保健施設ナーシングセンターあけぼの、松江記念病院
島根県立中央病院、介護医療院 宇賀の里つばさ

【実習時期】 2年次 5～6月の4週間

【実習内容】 実習指導者の指導のもとに、認知症高齢者とその家族に対する看護実践を行い、相談・ケア調整・倫理調整・スタッフ教育について、実習施設における実践を通して学ぶ。

3) 在宅における高齢者看護実習

【実習施設】 出雲看護サービスセンター、訪問看護ステーションやすらぎ

【実習時期】 1年次～2年次前期の週2日程度、4週間

【実習内容】 実習指導者の指導のもとに在宅療養高齢者への看護活動を体験する。

4. 評価

実習内容、レポートのほか、学生の自己評価および実習指導者の意見を踏まえて、単位認定者（原 祥子）が総合的に判断し評価する。

5. 備考

詳細については、別途、高齢者看護学実習要項を提示する。